

【工業:工業化学科】

平成25年度 指導と評価の年間計画(シラバス)

藍岡工業高校 全日制課程

教 科		製図	単 位 数	2	学 科 ・ 学 年	工業化学1年	担 当 者	小野寺稔・佐藤文子・川村善和・高橋正彰					
使用教科書		製図(実教出版)			副 教 材	基礎製図練習ノート(実教出版)		CADテキスト					
到達目標(具体的な取り組み【評価基準を念頭に置いた指導上の留意点】)										評価の重点			
製図に関する日本工業規格及び工業化学分野の製図について基礎的な知識と技術を習得させ、製作図・設計図・配管図などを正しく読み、図面を構想し作成する能力を育てる。図面を作成する目的は、図面を作成した側(例えば設計者)の考えを図面によって作業を行う側(例えば製作者)に迅速で確実、かつ容易に伝達することにある。そのためには、この科目の目的の一つである製作図、設計図などを正しく読む能力が重要である。指導にあたっては、図面を作成する段階で頭に浮かんだ概念を図面上に具体的に表現することを通して、概念の具象化を図り、創造力を高めることや、内容を吟味し、作成した図面によって思考を深めることができる能力と態度を育てる。学習過程・学習状況の成果は、普段の学習状況、定期考査、課題提出等で総合的に評価する。										関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
学期	月	学習項目 (単元名、教材、学習領域)			主な学習活動・評価のポイント			評価方法					
前 期 中 間	4	<b>製図の基礎</b> 1 製図用具の使い方 2 線と文字  3 直線と円弧 4 投影法			製図器具の正しい使い方を理解させる。 線と文字の基本的な描き方の学習をさせる。  授業や課題等の取り組み状況と定期考査による理解度を評価する。			学習状況	○	○	○	○	
	5	<b>製図の規約</b> 1 寸法の記入法 2 図面の管理の仕方 3 作図の種類 4 工程図の見方と描き方						作品 (演習ノート使用)	○	○	○	○	
		6	※ <b>製図機とCADは</b> 2班に分けローテーションで行う。					定期考査				○	
前 期 末	6	<b>1 製図機を使用しての製図</b>			直線と円弧の基礎的な描き方の学習をする。 寸法記入方法の学習 図面の管理についての基本的な講習 作図の種類についての学習 1 各種線の練習 2 投影図と等角図 3 寸法表示 4 中間軸 5 軸受け  授業や課題等への取り組み状況と図面の評価。			学習状況	○	○	○	○	
	7							作品 (演習ノート使用)	○	○	○	○	
	8							定期考査					
	9												
後 期 中 間	9	<b>2 AUTO CADによる製図 ( Auto CAD2009 )</b>			初期設定 図面作成 1 枠取り 2 線の種類 3 寸法表示 4 中間軸 5 軸受け 6 第二角法 7 工程計画図(エチレンオキサイド)			学習状況	○	○	○	○	
	10	※ <b>製図機とCADは</b> 2班に分けローテーションで行う。						作品 (演習ノート使用)	○	○	○	○	
	11							定期考査					
学 年 末	11				授業や課題等への取り組み状況と図面の評価。								
	12							学習状況	○	○	○	○	
	1							作品 (演習ノート使用)	○	○	○	○	
	2							定期考査					
	3												